

◆平成25年度県公連総会開催



平成25年5月29日(水)千葉市生涯学習センターにおいて県内各地から114人の公民館職員、関係者が出席し、平成25年度千葉県公民館連絡協議会総会が開催されました。

総会では、海保孝則副会長のあいさつの後、永年の公民館事業に貢献された方々に対して、功績表彰が行われ、今年度は、4人の公民館運営審議会等の方々に感謝状、21人の永年勤続職員に表彰状が贈呈されました。

議事は、第1号議案 平成24年度事業報告、第2号議案 歳入歳出決算報告及び会計監査報告、第3号議案 平成25年度事業計画(案)、第4号議案 平成25年度歳入歳出予算(案)、第5号議案 役員等の改選について 審議し、すべての議案が原案どおり可決されました。市町村負担金の削減など、県公連を取り巻く状況は、一段と厳しさを増すなか、事業報告では、時代に即した県公連の活動のあり方を議論・検討するため昨年7月に発足した「県公連検討委員会」での検討結果(3つの提案及び次年度以降の検討事項)についての報告もありました。



総会終了後、「国の政策動向にみる公民館の役割と期待」をテーマに千葉大学非常勤講師の越村康英先生による講演会が開催されました。

越村先生には、2013年1月発表の「中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」及び2013年4月発表の「中央教育審議会答申」を中心に、公民館に期待されるトピックを次の6項目に整理し、解説をしていただきました。

【A】ネットワーク型行政のなかで機能する公民館

- 【B】 現代的・社会的課題に対する学習を支える公民館
- 【C】 地域課題の解決、コミュニティの形成につながる学習を支える公民館
- 【D】 家庭教育支援の拠点としての公民館
- 【E】 生活上の困難を抱えた住民の学習を支える公民館
- 【F】 公民館における評価と「社会教育行政の再構築」

そのなかで越村先生は、【A】のネットワーク型行政を進めることについて「自前主義から脱却し、一般行政部局等との連携協力は重要であるが、行政課題に沿った普及啓発事業と公民館事業とでは性格が異なることから、住民主体の自由な学習が原点にあることを基本に据え取り組むべき」など、それぞれ6つの視点について、その必要性と同時に問題点にも触れ、各地域・各公民館の状況に応じて批判的に検討しながら実践に活かしていくことが求められていることを強調されました。

最後に、「公民館における『実際生活に即する教育』という言葉をきちんと受け止めて取り組むことが、公民館の存在意義、基盤をより確かなものにしていく」と述べられ、講演を終えられました。

本講演に際し、越村先生がご用意してくださいましたレジュメは、12ページにわたりわかりやすく解説されており、今後の実践に役立つものですので、是非、ご一読ください。

◆新県公連会長よりごあいさつ



八千代市八千代台東南公民館の五十嵐と申します。
今年度、千葉県公民館連絡協議会の会長となり、改めて、現在の協議会の置かれている状況を考える機会となりました。
公民館は、地域住民の生涯学習、生活問題に密接に結び付き、まちづくりを考える拠点としての役割を担ってきました。しかしながら、少子高齢化や地域コミュニティの変化、ライフスタイルの多様化など、社会が大きく変化し、様々な課題があるなかで、公民館の統廃合や複合化、職員の削減、指定管理者制度の導入など大変厳しくなっております。

このような状況のなか公民館の役割を改めて考える転換期にきていると考えております。

本協議会としても、新しい協議会のあるべき姿、方向性を考えて行かなければならないことから、検討委員会で「公民館が一様に参加出来る環境づくり」、「持続可能な事業実施と組織体制」を到達点として設定いたしました。この到達点に向かって、皆様と共に、微力ではありますが、少しでもお役に立てるよう努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

五十嵐 容子（八千代市八千代台東南公民館）

◆県公連新役員の紹介

任期：平成25・26年度

役職名	氏名	単位公連	所属機関名	
会 長	五十嵐 容子	葛南	八千代市八千代台東南公民館	
副 会 長	海老原 謙一	東葛飾	柏市中央公民館	
	田邊 正二	長生	白子町公民館	
	永島 哲	夷隅	御宿町公民館	
事 務 局	事務局長	坂本 雅志	印旛	成田市中央公民館
	次長	中村 亮彦	君津・市原	君津市周南公民館
	次長	立石 憲吾	千葉市	千葉市稲浜公民館
	書記	梅澤 智恵	印旛	八街市中央公民館
	会計	伊藤 清美	印旛	富里市富里中央公民館
部 会 委 員 会	館長部会長	鈴田 正則	東葛飾	松戸市矢切公民館
	主事部会長	上田 由記	葛南	浦安市当代島公民館
	研究委員長	飯泉 みゆき	君津・市原	君津市小糸公民館
	広報委員長	石橋 正一	香取・海匝	銚子市市民センター
	研修委員長	西口 和孝	千葉市	千葉市若松公民館

◆広報委員会の紹介

任期：平成25・26年度

役職名	氏名	単位公連	所属機関名
委員長	石橋 正一	香取・海匝	銚子市市民センター
副委員長	石橋 秀敏	君津・市原	富津市中央公民館
編集長・会計	杉田 修一	安房	南房総市丸山公民館
委員	吉野 清高	千葉市	千葉市誉田公民館
〃	滝 一郎	葛南	習志野市谷津公民館
〃	鳴島 道	東葛飾	我孫子市我孫子地区公民館
〃	鵜澤 淳	印旛	酒々井町中央公民館
〃	佐藤 正行	山武	東金市中央公民館
〃	土屋 亜矢子	長生	長柄町公民館
〃	鈴木 武彦	夷隅	大多喜町中央公民館

広報委員会では、今年度「ちばけん公民館スタッフニュース」を2回発行することを予定しています。また、総会や研修会等、皆様に早めにお知らせしたい情報は、県公連ホームページやメールなど電子媒体を利用して発信してまいります。各地区公民館事業等への取材の際には、ご協力をお願いします。